

競技上の確認事項

競技委員長

1. チーム編成について

- (1) 構成メンバー表、ベンチスタッフ変更届及び団員（選手）変更届は受付時に提出し、提出後に変更がある場合は、代表者会議終了までに競技委員長へ再提出する。提出された構成メンバー表、ベンチスタッフ変更届及び団員（選手）変更届は、全試合に適用し、変更は認めない。
- (2) ベンチスタッフ変更届提出時には、同一単位団に登録されていることが証明できるもの（例：スポーツ少年団登録システム_マイページ内の、変更する者が記載されている箇所を印刷又は写真に撮って提出する）及び公益財団法人日本スポーツ協会（J S P O）認定バレーボール（コーチ1・コーチ2・コーチ3・コーチ4）又は日本バレーボール協会認定準指導員、日本小学生バレーボール連盟認定指導者、旧・全国小学生バレーボール指導者1次・2次講習会受講者の証明書等の写しを提出すること。
- (3) 団員（選手）変更届提出時には、同一単位団に登録されていることが証明できるものを提出すること。（例：スポーツ少年団登録システム_マイページ内の、団員（選手）が記載されている箇所を印刷又は写真に撮って提出する）

2. 服装について

- (1) 団員（選手）の背番号は、1～12番が望ましいが、1～99番も可とする。
- (2) ユニフォームの背番号等の色は、ルールに則って地の色と対照的な色を使用し、誰もが見え易いものにする。
- (3) ユニフォームには、必ず団員章（原則として左肩部）をつけること。また、指導者及びマネージャーは、必ず指導者章を左肩部につけること。なお、団員章及び指導者章がない場合は、所属市町スポーツ少年団事務局にて支給してもらうこと。
- (4) 指導者（監督・コーチ）及びマネージャーの服装は統一されたものとし、短パン、Tシャツは不可とする。ただし、団員がマネージャーの場合は、短パン、Tシャツを認める。Tシャツの色は他のベンチスタッフと異なってもよい。
- (5) ユニフォームの裾は、パンツの中に入れること。また、チームスタッフも、シャツはズボンの中に入れる等、身だしなみを整えること。
- (6) 寒さ対策として、半袖のユニフォームの下にアンダーウェアを着用することができる。ただし、アンダーウェアはチームで統一したものを着用すること。
- (7) 試合中、ベンチスタッフ及び控え選手、スコアラー、点示員は、ベンチコート等厚手の防寒着を着用しても良い。また、防寒着はチームで統一されてなくても良い。ただし、ラインジャージについては、ジャージ等任務にふさわしい服装で参加すること。（ベンチコート等厚手の防寒着の着用は禁止する）

3. 試合進行について

- (1) 試合順は、組合せ表に掲載された通りに行う。
- (2) 第1試合は、代表者会議終了後準備が整い次第プロトコールに入る。
- (3) 第2試合目以降は、前の試合が終了（記録が完了）してから概ね10分後にプロトコールに入る。
- (4) 同一チームの試合が連続する場合は、前の試合が終了してから最大15分後にプロトコールに入る。
- (5) 競技フロアへの入場については、競技のコート担当者の指示に従うこと。また、競技のコート担当者から指示があるまで、ボールの使用は認めない。
- (6) 試合終了後、チームキャプテンのサインが終わり次第、コートを退席すること。
- (7) 試合間の練習は認めるが、ネットを使用しての練習は禁止とする。

5. 応援について

- (1) 応援者へのマナーの厳守の徹底は監督から行う。
- (2) 相手チームやラインジャッジに対し不快感を与える行動や言動は慎むこと。
- (3) 横断幕は、各試合の該当チームのみが1枚掲出し、試合後直ちに撤去すること。掲出の際は必ず、ひもを使用すること。(ガムテープ等粘着性のあるテープの使用は一切禁止) また、観覧席の手摺正面等に視界を遮る張り方はしない。
- (4) のぼりは、各試合の該当チームのみが掲出できる。試合後直ちに撤去し、他のチームの邪魔にならないようにすること。掲出の際は必ず、ひもを使用すること。(ガムテープ等粘着性のあるテープの使用は一切禁止) また、観戦者の視界を遮ることのないように観覧席の最後部に立てること。
- (5) 試合中は、カメラのストロボ撮影は禁止とする。

6. その他

- (1) 監督、コーチ、マネージャーは、子どもの健全育成を目指す指導者としての自覚をもち、不適切な行為はもちろん、誤解を招くような行為も厳に慎むこと。
- (2) 監督は、ボールデット間に立ち上がってコート内の選手に必要な指示を与えることができる。このことは、監督がみだりに立ち上がる行為を容認するものではない。また、ベンチスタッフが、自然発生的に喜びの表現として偶発的に立ち上がる行為は許容範囲であるが、監督以外が、毎回のようには立ち上がったたり数歩前に出たりする行為は認められない。さらに、監督が、選手とハイタッチをしたり飛び跳ねたりする行為及び相手を威嚇する行為も認められない。
- (3) 競技フロアに入場できるのはエントリーされた者のみとする。
- (4) 危険予防の観点から、金属製及びプラスチック製の髪留めの使用は禁止する。
- (5) マスコットの物(人形、ぬいぐるみ、千羽鶴等)やメガホンの持ち込みを禁止する。ただし、選手の健康管理上必要なものは除く。
- (6) ボールかごの場所は、競技のコート担当者の指示に従うこと。
- (7) 試合時、チームのドリンクかごはベンチ横とする。
- (8) 給水は、コート内にいる選手や控えの選手の他に、ラインジャッジや点示担当の選手も確実に行うこと。
- (9) 試合中、携帯電話やトランシーバー等の電子機器は、ベンチにおいて使用を禁止する。
- (10) うちわ等については、セット間及びタイムアウトの間に選手のクールダウンのみ許可する。